

調査研究委員会レポート

調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募

委員会名 【技術委員会】		磁気支持応用における電気・機械システム 融合化技術調査専門委員会 【リニアドライブ技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 18 年 10 月～平成 20 年 9 月	電気・機械システムを融合化して実現される磁気支持システムに関し，以下の項目を調査し，体系化を行います。 (1) 磁性材料とその作用力の利用形態 (2) 電気・機械連成系の受動的な安定化を含めた解析手法 (3) センサレス制御等先端的な制御手法 (4) 磁気支持機器におけるドライブ技術
委員長名（所属）		森下 明平（東芝）	
委員会開催頻度		6 回 / 年	
問合・ 公募 受付 先	氏名 （所属）	長谷川 均（JR 東海） 大橋 俊介（関西大学）	
	電話	03-6711-9559 06-6368-0824	
	FAX	03-6716-1605 06-6388-8843	
	E-mail アドレス	hitoshi.hasegawa@jr-central.co.jp ohashi@ipcku.kansai-u.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など		磁気支持の応用に関し，制御・制振・磁性材料・ 電磁力解析・駆動方式の分野で経験のある方	
応募締切		平成 19 年 7 月 31 日	

編集後記

電気学会全国大会の季節となりましたが，皆様いかがお過ごしでしょうか。3 月の全国大会は，「薬売り」や「ますのすし」で有名な富山県，富山大学にて開催されます。ご講演の準備，交通・宿泊の手配はお済みでしょうか。

早いもので，本ニュースレターには 8 月に開催される産業応用部門大会の案内を掲載しています。皆様奮ってご参加下さい。今回の部門大会の会場は，淀川のほとりの大阪工業大学です。大阪市バスから市営地下鉄に乗り継ぐ際は，バス降車時に乗り継ぎボタンを押すと割引料金が適用されるそうですが，「ボタンは運賃を支払う前に押すこと」「バスの運賃は 200 円であるが，乗り継ぎの場合は 300 円を支払うこと」という，初心者には難易度の高いシステムになっています。ご利用の際はお気を付け下さい。

技術開発レポートでは，日本原子力研究開発機構の渡辺氏より，「大強度陽子加速器用共振型電磁石電源システム

の開発」についてご寄稿いただきました。大強度陽子加速器を建設するプロジェクトの一環として開発された装置の紹介です。文中で使用されている単位が「GeV」や「MW」であることから，スケールの大きさを感じることができます。研究グループ紹介では，長岡工業高等専門学校の恒岡先生より，電力システム研究室と電気機械研究室の紹介記事をご寄稿いただきました。サージ，パワーエレクトロニクス回路，ロボット等，幅広い分野で活発に教育・研究をされている様子がうかがえます。紙面の都合上，あまり多くの情報を掲載することができませんでしたが，詳細は本文中に紹介されている Web ページをご覧下されば幸いです。

末筆ながら，ご多忙中にもかかわらずご執筆下さいました皆様，ならびに産業応用部門編修広報委員会の皆様に，厚く御礼申し上げます。

エディタ 市川 修（職業能力開発総合大学校）